

第23回再処理・リサイクル部会 全体会議 議 事

1. 部会長挨拶
2. 2012年度活動中間報告と今後の計画
3. 第8回再処理・リサイクル部会セミナー報告
テキスト作成WG活動報告
4. 国際会議(ANUP)及びぎんぎんセミナー開催案内
5. 2012年秋の大会 部会企画セッション案内
6. GLOBAL2011寄付金の使途計画
7. その他

1. 部会長挨拶

再処理・リサイクル部会

井上 正 部会長(電中研)

2. 2012年度活動中間報告と今後の計画

- (1) 4月25日 拡大運営小委員会・・・平成24年度活動・予算計画、
GLOBAL2011寄付金取扱い他
- (2) 7月13日 拡大運営小委員会・・・全体会議、部会セミナー準備他
- (3) 8月24日 第8回再処理・リサイクル部会セミナー
- (4) 9月4日 拡大運営小委員会・・・部会セミナー報告、
GLOBAL2011寄付金使途計画他

----- ここまで実績 -----

- (4) 9月19～21日 第23回部会全体会議(広島大)
- (5) 10月16～19日 ANUP(中国)
- (6) 11～12月 拡大運営小委員会・・・平成24年度活動・予算実績、
平成25年度活動・予算計画他
- (7) 12月初旬 ぎんぎんセミナー
- (8) 2月 拡大運営小委員会・・・全体会議準備
- (9) 2月 平成24年度 再処理リサイクル部会 部会賞決定
- (10) 3月 第24回部会全体会議(近畿大学)
- (11) その他 クリーンアップ分科会に部会メンバー参加
- (12) その他 燃料サイクルに関するテキスト作成

3. 2012年度活動中間報告:トピックス

(1) 第8回再処理・リサイクル部会セミナー:8月24日

- ・テーマ:福島事故後における六ヶ所再処理竣工へ向けた現状と課題

- ・参加者:約150名、ポスター出展数:33件

- ・福島事故を受け、原技協石川最高顧問より「安全思想の変遷」を、基調講演ではこれからの原子力規制について講演いただくなど、安全に関するテーマをとりあげた。

また、六ヶ所のガラス固化試験の現状と将来に向けた改善など、今後の進展を受講者に期待していただける内容であった。



(2) 燃料サイクルに関するテキスト作成

- ・核燃料サイクルに興味はあるが予備知識のない人を対象として、学会という中立・校正な立場で燃料サイクルに関する最新の技術の解説を主としたテキストを作成中。

- ・原稿が完成した節あるいは章から再処理・リサイクル部会のHPにて迅速に公開。

3. 2012年度活動中間報告:トピックス(その2)

(1) クリーンアップ分科会での活動

- ・活動・・・活動開始(立ち上げ)は2011年4月23日 会員(オブザーバー含め)約50名
 - 会合:今年度 6回(昨年度11回)の会合開催
 - 福島特別プロジェクトへの改組

- ・具体的活動
 - 発信:除染技術カタログ(64件)と環境修復技術説明資料の公表、配布
 - 検証等:現地でののうち土壌からイネへのCs移行挙動データ取得を目的に5/16からJA南相馬の協力のもとCs移行抑制試験を実施中(10月上旬にイネの採取予定)
 - 講演:安全・安心フォーラムにおいて、「放射能除染の必要性と課題」を説明
 - 環境省への協力:
 - 環境省が提示した「廃棄物ガイドライン」(12月28日)の補足事項として、技術的考慮事項を提示
 - 除染情報プラザへの専門家派遣:
 - 分科会の会員を専門家として派遣。現在、週末に2名駐在。
 - 学会事故調査委員会への貢献

4. 2012年度活動今後の計画:トピックス

(1) ANUP(中国):10月16~19日

・プレナリー発表(再処理・リサイクル部会関係者):

(1) Recovery from Fukushima Daiichi NPP Accident

(学会福島特別プロジェクト 藤田幹事)

(2) Asian-Pacific Nuclear Fuel Cycle Approach (東大 田中先生)

(2) ぎんぎんセミナー:12月初旬予定

・テーマ:これからの再処理と今後の研究開発

・夏以降に明らかとなる我が国の原子力計画の方針、福島支援の動向を鑑み、現在の六カ所再処理プラントの現状や今後の展開を中心に、広くバックエンド分野の若手研究者を集め、我が国の研究開発の今後について議論する。



5. 再処理・リサイクル部会企画セッション

「再処理・リサイクル部会特別講演会」

(9月21日(金) 13:00~14:30、E会場)

座長(電中研)井上正

(1) 日本の再処理の温故知新とこれからの再処理

(元JAEA)山村修様

(JAEA)中村博文様

6. GLOBAL寄付金の使途計画

(1) GLOBAL寄付金

GLOBAL2011会計事務局より、使途指定(再処理・リサイクル部会)の寄付金の申し込みが日本原子力学会にあった。

○ 再処理・リサイクル部会への寄付金: 9,971,930円

(2) 使途計画

・GLOBAL2013(米)渡航費:	500,000円
・ANUP2014(韓国)渡航費:	108,000円
・GLOBAL(仏)渡航費:	750,000円
・福島環境修復活動(福島特別プロジェクト)*:	2,000,000円
・燃料サイクルテキスト執筆謝礼:	300,000円
・GLOBAL2017準備金:	6,313,930円

6. GLOBAL寄付金の使途計画(その2)

(*) 福島環境修復活動(福島特別プロジェクト)について

福島特別プロジェクトの実施する福島の環境修復活動に関して、福島特別プロジェクトから要請があった場合に限り、再処理・リサイクル部会より協力・支援するもの。

<種類>

福島特別プロジェクトが実施する福島の環境修復活動に協力するために必要となる交通費及び最低限の宿泊費(実費)に限る。

<条件>

- ① 再処理・リサイクル部会員であること。
- ② 所属団体・組織からの旅費支払いが不可能な会員、若しくは、団体・組織に所属せず自費で支弁が必要な会員であること。
- ③ ②は①の条件を満たすものに限るとし、事前に福島特別プロジェクト事務局から派遣を依頼され、事務局において当該身分及び旅費支給が妥当と判断されたものであること。

7. その他(部会運営委員(2012.4.25現在))

部会長:	井上 正 (電中研)	
副部会長:	藤田 玲子 (東芝)	分担
運営委員:	浅沼 徳子 (東海大)	会計
	子安 徹人 (関電)	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	稲垣 八穂広(九大)	企画(国際WS、ぎんぎんセミナー)
	大場 一鋭 (三菱マテリアル) .	企画(部会セミナー、国際WS)
	鴨志田 守 (日立GE)	庶務
	黒田 一彦 (三菱重工)	会計
	小泉 務 (原子力機構)	企画(ぎんぎんセミナー、部会セミナー、部会HP)
	小山 真一 (原子力機構)	広報(ぎんぎんセミナー、部会セミナー)
	佐藤 修彰 (東北大)	広報(国際WS、学会企画セッション)
	澤田 佳代 (名大)	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	鈴木 達也 (長岡技大)	企画(学会企画セッション、ぎんぎんセミナー)
	中熊 哲弘 (東電)	広報(六ヶ所情報、部会セミナー)
	中村 裕行 (日本原燃)	広報(六ヶ所情報、国際WS)
	加納 正規 (日本原燃)	広報(部会セミナー、国際WS)
	飯塚 政利 (電中研)	企画(学会企画セッション、部会セミナー)
	日山 伸行 (原燃工)	広報(部会セミナー、国際WS)
	梅田 幹 (原子力機構)	庶務
	多賀 純一 (東芝)	広報(学会企画セッション、国際WS)

顧問: 竹内哲夫(元原子力委員会/東電)、近藤駿介(原子力委員長)、田中知(日本原子力学会会長)

参与: 野村茂雄、土尻滋、小山智造、峯尾英章、天野治、駒義和、藤田雄二、森田泰治、松村達郎(原子力機構)、鈴木一弘、鈴木一雄、富田邦裕(東電)、向原進、徳森律朗、山澤正俊(東電)、西村友宏(電中研)、池田泰久(東工大)、松本史朗(JNES)、田辺哲朗(九大)、山名元、白井理(京大)、山村力(東北大)、波多野守(エネ総研)、倉重有幸(原燃工)、半沢正利(MMC)、有田裕二(福井大)、森行秀(MHI)、深澤哲生(日立GE)、星野国義(日立GE)、山田和矢(東芝)